

東海医学会講演会のご案内

演題：核型の記載方法と結果の解釈

演者：三浦 偉久男 先生

SRL 遺伝子・染色体解析センター

司会：中村 直哉（基盤診療学系 病理診断学）

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

白血病は骨髄性とリンパ性の両方に分化しうる細胞の腫瘍である。成熟細胞腫瘍は、Tリンパ腫がT細胞になって腫瘍化し増殖した腫瘍であるのに対し、Bリンパ腫は分化の過程で腫瘍化しB細胞になって増殖した腫瘍である。Bリンパ腫の染色体には腫瘍化の異常に進化の異常が付加されている。その典型例が double-hit lymphoma (DHL) である。染色体解析は各腫瘍細胞の進化過程と生物学的意義を明らかにしてくれる。核型読解のための基礎に触れ、DHLでその実践を示す。

2020年12月11日（金）

17：00～18：00

松前記念講堂 2階